

会議議事録

事業名	「専修学校版教育推進事業（医療事務における効果的な連携事業を行うためのガイドラインを作成）」
代表校	一般社団法人 全国専門学校教育研究会

会議名	実施委員会（第2回）
開催日時	平成29年2月2日（木） 10:30～11:30（1h）
場所	東京ガーデンパレス 3階 橋の間
出席者	①構成員 井本浩二、佐竹新市、山崎彰、川崎千春、河原成紀、栗原寛隆、片岡均、鈴木啓之、麻生健（代理出席3名）、國分義史（代理出席）、高岡信吾、岡村慎一 （計14名） ②事務局 喜多良雄、森田知里（計2名） （参加者合計16名）

<p>議題等</p>	<p>(1) 概略報告</p> <p>11 月半ばの例会時に 1 回目を実施し、その後会員校の協力により 7 地区 14 医療機関と 39 の会員校からアンケートを回収済み。今年度予定とする、文科省で承認されている事業はほぼ予定通りの進捗状況。</p> <p>予算の執行状況については、990 万の事業として進めている。多くが旅費交通費、調査費である。若干旅費交通費の予算執行が滞っている。最終的な報告書の作成が今後なされる。予定では 4 回の事業推進委員会で終了だったが、5 回目 6 回目を 2 月と 3 月に実施する。3 月 14 日の報告書提出に向けて、追加の委員会を実施することで、中身の精査と旅費交通費を執行する。</p> <p>調査の概要と病院インタビュー調査について岡村氏より報告がなされた。</p> <p>調査の概要は 2 月 3 日午後 2 時 30 分～中間報告会を実施。</p> <p>(2) 質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none">・実習中における事故の具体的な対応がわかると良い。 →各学校の取り組みについてはアンケートにて調査済み。 <p>病院からは個人情報、守秘義務、感染症等の管理をするというアドバイスも受けているので、これに関してはガイドラインに入れていく予定。</p> <ul style="list-style-type: none">・効果的な実習期間について。教育の質の差がでるくらいの適切な実習時間はどのくらいなのか。 →学校側とすれば 1 か月依頼するのは大変だが、1 か月あると業務がワンサイクルできるので、医療事務職者として一通りの業務を見るスパンとなる。1 か月を 2 回と 1・2 週間を 1 回、計 3 回くらい行うことが、最終的なガイドラインを作っている上での方向性になるのではないかと。 <ul style="list-style-type: none">・OBインタビューについて。 →受ける側がどう感じているのかを把握することが必要。 <p>来年度追加項目として、卒業後の調査が許されるのであれば、補強ができると考えている。ベネッセからも指摘を受けている。</p>
------------	--

(様式)

	<p>(決定事項)</p> <p>実施委員会については 2 回目で終了だが、3 ヶ年事業として継続していくことで実施委員会の了承がなされた。</p>
--	--

以上